Arcserve® UDP 9000 v2 シリーズ ハードウェア エラーのメール通知設定

本ガイドの目的	1
1. 電源、冷却ファン、温度等の異常通知	2
1.1 BMC ネットワーク設定 1.2 BMC の操作(初めてのログインと言語設定、パスワードの変更) 1.3 BMC のメール通知設定	2 4 7
2. HDD、RAID の障害通知	10
2.1 LSA の起動とメール通知設定	10
3. BMC および LSA の監視項目	15
3.1 BMCの監視項目	

改定履歴

2024 年 8 月 Rev 1.0 リリース



Rev:1.0

本ガイドの目的

Arcserve® UDP 9000 v2 シリーズ アプライアンス(以下、Arcserve UDP アプライアンス)は、イメ ージ バックアップ ソフトウェア Arcserve Unified Data Protection のコンポーネントがプリインストール されたバックアップ サーバ アプライアンスです。

バックアップを継続的に実施するため、Arcserve UDP アプライアンス自体に障害が起きた場合には速や かに検知して対応する必要があります。本ガイドでは、Arcserve UDP アプライアンス のハードウェア障害 を電子メールで通知するための設定方法を説明します。





1. 電源、冷却ファン、温度等の異常通知

Arcserve UDP アプライアンスは、システム ボードの管理を行うために OS とは独立してハードウェア 障害を監視する管理用コントローラ Baseboard Management Controller(以下 BMC)を搭載していま す。本章では BMC を使って電源や冷却ファン、温度等の異常をメール通知する設定の方法を説明します。

1.1 BMC ネットワーク設定

BMC は Arcserve UDP アプライアンス 背面の IPMI 専用ポート(IPMI Dedicated LAN)に接続するこ とで使用できます。IPMI 専用ポートの IP アドレスはデフォルトでは 「192.168.1.2/24」 に設定されて います。以下、BIOS セットアップ画面で IPMI のネットワーク設定を変更する方法を説明します。デフォ ルトの IP アドレスをそのまま使用する場合は、このページを飛ばして「<u>1.2 BMC の操作</u>」をご覧くださ い。

(1) BIOS 画面

Arcserve UDP アプライアンスに電源を入れ、arcserve のロゴが表示される画面でキーボードの [Delete] キーを押下し、BIOS 設定画面に移動します。





Rev:1.0

(2) BMC のネットワーク設定

BIOS 設定画面が表示されたら、[BMC] タブ内の [BMC Network Configuration] を開きます。

Main Advanced Event Logs	Aptio Setup – AM BMC Security Boot Save	I & Exit
BMC Firmware Revision BMC STATUS	1.03.10 Working	Configure BMC network parameters
 System Event Log BMC Network Configuration 		

(3) BMC のネットワーク設定

[Update IPMI LAN Configuration] を「Yes」 に変更したのち、IPMI ポートの IP アドレスやサブネット マスク、ゲートウェイの IP アドレスを設定します。

вис	Aptio Setup – AMI Network Configuration	
Update BMC LAN Configuration	[Yes]	Enter router IP Address
жжкожжкожжкожкожкож Configure IPv4 Support жкожкожкожкожкожкожк		
BMC LAN Selection BMC Network Link Status:	[Dedicated LAN] Dedicated LAN	
Configuration Address Source Station IP Address Subnet Mask Station MAC Address	[Static] 192.168.1.2 255.255.255.0 7C-C2-55-7D-1E-98	
Gateway IP Address VLAN	0.0.0.0 [Disabled]	++: Select Screen ↑↓: Select Item

(4) 設定の保存と再起動

[Save & Exit] タブに移動し、[Save Changes and Reset] を選択します。画面中央にダイアログが表示 され、[Yes]を選択すると設定が保存されて Arcserve UDP アプライアンスが再起動します。

Main Advanced Event Logs BMC Sec	Aptio Setup – AMI rity Boot <mark>Save & Exit</mark>
Save Options Discard changes & exit Save Changes and Reset Save Changes Discard Changes Default Options Restore Optimized Defaults Save as User Defaults	Reset the system after saving the changes.
Restore User Defaults Boot Override Windows Boot Manager UDP Factory Reset UEFI: Built-in EFI Shell Launch EFI Shell	→ Save & reset onfiguration and reset? s No ↓: Select Screen ↓: Select Item nter: Select /-: Change Opt.



1.2 BMC の操作(初めてのログインと言語設定、パスワードの変更)

(1) ログイン

IPMI 専用ポートと通信できる端末の Web ブラウザから、「<u>1.1 BMC ネットワーク設定</u>」で設定した IP アドレス ″ <u>http://XXX.XXX.XXX.XXX/</u>″ にアクセスすると以下のログイン画面が表示されます。

[Username] と [Password] に認証情報を入力して [Login] ボタンをクリックします。なお、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズでのデフォルトのユーザ名/パスワードはそれぞれ 「ADMIN/ArcADMIN1」(大文 字/小文字を区別します) です。



(2) 言語の指定

デフォルトの言語は英語に設定されています。画面右側の [Language] タブを開きます。

	•	🔍 Hi ! Welcome b	ack ! 👤	
JID Control Firmware Update	@	Sensor Readings		
Heet			(ს
nost			(3
Server Host Name			(i
Server IP Address		💮 La	nguage	
IPv6 Address 1				

194	プログボックスが衣示されるのし、「日本	6」 で進入しよ 9。
n	01.03.10	Server Host Name
Time		
	Language Change	_
Version	English 日本語	简体中文
	F1 00 0D	

ダイアログ ボックスが表示されるので、「日本語」を選択します。

(3) 管理者パスワードの変更

はじめて BMC にログインする場合は、必ず管理者ユーザのパスワードを変更してください。画面左側の メニューから [設定] - [アカウントサービス] を開きます。

ユーザリストから「ADMIN」の編集ボタンをクリックします。

SUPERMICE							ようこそ	E! 👤
⑦ ダッシュボード								
<u>Ц</u>	ユーザ デ・	ィレクトリサービス						
③ 設定 -	詳細設定						+	da
アカウントサービス							_	
通知	国 フィルター							
ネットワーク								0
バーチャルメディア	× Redfish/IPMI × S	SNMP						
BMC設定								
🗊 リモートコントロール	ユーザ							
🖏 メンテナンス +	追加 >	ステムは最大16人						
	ユーザーのステータス	ユーザID	ユーザ名	ネットワーク権限	口座の種類			
	0	1	Anonymous	Reserved				
	<i>,</i> ,	2	ADMIN	Administrator	R/I	1		
							_	
•			Copyright (2024 Supermicro Computer, Inc.				



(4) 管理者パスワードの変更

[パスワード変更] チェック ボックスにチェックを入れ、新しいパスワードを [パスワード] および [パス ワードの確認] に入力したら、[保存] ボタンをクリックします。パスワードの変更が反映されます。

ユーザ名 *	ADMIN	
パスワード	••••••	
パスワードの確認	•••••	インスワート要任:必要なパスワートの長さ:8~ 20文字
ネットワーク権限	 管理者 	- パスワードをユーザー名を逆にしたものにする ことはできません
有効	◎ 有効化	- パスワードにはリストにある文字クラスの中か ら最低でも3文字を含む必要があります
口座の種類	Redfish/IPMI SNMP	- 利用できる文字クラス:a-z,A-Z,0-9

1.3 BMC のメール通知設定

(1) [SMTP]の設定

SMTP サーバ(メール サーバ)の設定を行います。メニューから [設定] - [通知] - [SMTP 設定] を開き ます。

[サーバーアドレス] に SMTP サーバの IP アドレスを、[SMTP ポート番号] にポート番号を、[差出人の アドレス] に通知メールの送信元になるメール アドレスをそれぞれ入力します。また、必要に応じて [接続 プロトコル] や [認証] 方式を選択し、認証に使用する [ユーザ名] と [パスワード] を入力します。[保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

(2) [アラート]の設定

次にアラートの設定を行います。メニューから [設定] - [通知] - [アラート] を開きます。

アラート リストから、エントリ(行)を選択し、編集ボタンをクリックします。

④ ダッシュボード		
<u>Ц</u>	アラート SNMP Syslog SMTP設定	
② 設定 -	アラート	
アカウントサービス		
通知	テストアラートを送信	
	番号 有効化 プロトコル 宛先アドレス イベントタイプ	
ネットワーク	▶ 1 SNMPv1 0.0.0.0	
バーチャルメディア		
	▶ 2 🔔 SNMPv1 0.0.0.0	

(3) [アラート]の設定

アラート関連の各設定値を選択および入力します。

まず、[有効化] を「ON」に変更します。

[プロトコル]は「SMTP」を選択してください。

[重大度] は軽微なものから順に「情報」、「警告」、「重要」があります。たとえば、「情報」 を選択 すると情報 レベル以上のイベントを通知します。

[メールアドレス] に通知メールの送信先になるメール アドレスを入力します。

[主題] および [メッセージ] は、ASCII コード(英字)でメール件名と本文を設定できます。

[保存]をクリックし、設定を保存します。

ว่าเราแ	SNMPv1 SMTP Redfish SNMPv3
重大度	
イベントタイプ	🖬 Alert 🗆 Resource Added 🗆 Resource Removed 🗆 Resource Updated 🗆 Status Change
メールアドレス*	ADMIN@arctest.com
主題*	UDP 9000 v2 BMC alert
メッセージ*	This message comes from UDP 9000 v2 BMC.

(4) テストアラートの送信

			///	J. 7015			28		
ダッシュボード									
<u> </u>		アラ	j	SNMP	S	yslog SMTF	設定		
		アラート							
アカウントサービス	ſ								
通知	l	テスト	アラートを送			会先 フレレフ			
ネットワーク			借亏	有幼儿		卵元アトレス	1/7/917		
パーチャルメディア		•	1	2	SMTP	ADMIN@arctest.com	Alert	67	\bigotimes
ለ─ታየሥጆታイグ		•	2		SNMPv1	0.0.0.0		Ø	\bigcirc
BMC設定			2		CNIMD:/1	0.0.0.0		~	ò
🗊 リモートコントロール		•	3		SINIVIPVI	0.0.0.0		6/	\sim
		Þ	4	A	SNMPv1	0.0.0.0		67	\Diamond
		•	5		SNMPv1	0.0.0.0		Ø	

[テスト アラートの送信] をクリックし、メールが送信されることを確認します。

以下、テスト メールのサンプルです。

差出人 (自分)★ 件名 UDP 9000 v2 BMC alert 宛先 (自分)★ This message comes from UDP 9000 v2 BMC. Time: 2024/08/07 17:42:08 User:ADMIN Category: others EventType: Alert Severity: Information Source: Interface: Redfish MessageId: Event.1.0.AlertSendTest Description: [MEL-0072] Test alert message #1 was sent successfully.

2. HDD、RAIDの障害通知

Arcserve UDP アプライアンスでは RAID の管理ツールである LSI Storage Authority(以下 LSA)を利用して、HDD や RAID の状態を監視できます。この章では Arcserve UDP アプライアンスにプリインストールされた LSA を使用し、SMTP でメール通知を行う設定の手順を説明します。

2.1 LSA の起動とメール通知設定

(1) LSA の起動

Arcserve UDP アプライアンスの Windows の [スタート] メニューから、[LSA] – [Launch LSA] をク リックします。



(2) サインイン

[Username] に Arcserve UDP アプライアンスにログインするための管理者権限を持つユーザ、 [Password] にそのユーザのパスワード入力し、[Sign In] ボタンをクリックします。

Sign In	?
HOST V	
administrator	
English	
Sign In	

(3) 設定画面の表示

画面右上のユーザ名をクリックすると表示されるメニューから [Settings] をクリックします。

& BROADCOM	LSI Storage Authorityv008.006 010.000 Copyright © 2023 by Broadcom Inc. All Rights Reserved	Select Controller	nistrator 🔻 🤇 ?
Recommendation: Browser zooming may be requ	uired to adjust the content on the screen.	Full Acc	Cess
1 Controller on this server		+ OS Windows	and Feedback
	View All Controllers		ew Server Profile

通知の設定画面が表示されます。

🦺 BRC	DADCOM	LSI Storage Authority. v008.006.010.000 Copyright © 2023 by Broadcom Inc. All Rights Reserved	٢	Select Controller	Settings	2
Recommendat	tion: Browser zooming may be req	uired to adjust the content on the screen.			×	
	Settings				Back	
	Alert Del Choose the a Displaying Alert Set	Mail Server alert delivery method for each severity level			Actions Save Settings Restore Default Settings	



(4) アラートの設定

[Alert Delivery] タブで重大度 (severity level) に応じた通知の設定を行ないます。重大度は高いものか ら順に「Fault/Dead」、「Fatal」、「Critical」、「Needs Attention」、「Information」 の 5 種類があ ります。デフォルトでは、メールの通知は「Fault/Dead」および「Fatal」 レベルでのみ送信される設定 になっています。必要に応じて、通知を有効にしたい重大度の [Email] チェック ボックスにチェックを入 れます。

Alert Delivery	Mail Server		
Choose the alert Displaying Alert Settings	delivery meth	od for each se	verity level
Fault/Dead - when Within Application	n controller faulted du	e to a catastrophic err	or System Messages
Outside Application	Email		
Fatal - when a comp	oonent fails and data l	oss occurs	
Within Application Outside Application	System Log	Event Log	System Messages
Critical - when a co	mponent fails		
Within Application Outside Application	System Log	Event Log	System Messages
Needs Attention	when a component	is close to Failure poir	it
Within Application	System Log	Event Log	System Messages
Information - info	rmational message wi	here no user action is I	necessary
Within Application	System Log	Event Log	System Messages
Outside Application	🗌 Email		

Rev:1.0

(5) メール サーバの設定

次に、[Mail Server] タブをクリックします。[Sender Email Address] に差出人のメール アドレス、 [Protocol] に メール通知に使用するプロトコルを、[SMTP Server] にメール サーバの IP アドレスを、 [Port] に受信ポート番号を入力します。メール サーバで SMTP 認証が有効な場合は [This server requires authentication] チェック ボックスにチェックを入れ、[User Name] および [Password] に認証のための ユーザ名/パスワードを入力します。

[Add Email Recipient Address] には通知メールの送信先のメール アドレスを入力し、[Add] ボタンを クリックします。

Alert Delivery Mail Server		
Provide mail and server settings fro notifications. Displaying current mail server settings	om which th	e application will send alert
		Legacy
Sender Email Address	Protocol	SMTP Server Address
lsa-monitor@server.com	SMTPS ▼	127.0.0.1
Port 25 Use Default For server authentication, please provide the follow	wing (optional de	Secure with SSL/TLS
User Name	Passwor	d
Add Email Recipient Address Add Add Email alerts will be sent to the following recipier	nt email ids	
root@localhost	e	
Test Configuration		



あらかじめ用意されている「root@localhost」 は削除して下さい。メール アドレス左側のチェックボッ クスにチェックを入れて [Remove] ボタンをクリックします。

Email alerts will be sent to the following	g recipient email ids
ADMIN@arctest.com	Remove
✓ root@localhost	
Test Configuration	

[Test Configuration] ボタンをクリックするとテスト メールを送信できます。

Email alerts will be sent to the follo	wing recipient email ids
ADMIN@arctest.com	Remove
Test Configuration	

以下のようなテスト メールが送信されます。

差出人 Isa-monitor@server.com 分
件名 INFO Event occured on: UDP9200v2 on 2024-Aug-07 09:27:30 UTC
宛先 (自分) 🚖
Test Email Successfully Sent

正しくメールが送信できることを確認したら、画面右側の [Save Settings] をクリックして設定を保存し

ます。

Alert Deliver	y Mail Server	Actions Save Settings Restore Default Settings
Provide mail and notifications. Displaying current mail s	d server settings from which the application will send alert	



3. BMC および LSA の監視項目

BMC および LSA ではそれぞれ以下の項目を監視します。

3.1 BMC の監視項目

温度	CPU、メモリ、マザーボード、周辺装置等の温度を監視します。
電圧	CPU、12V、5VCC 等の電圧を監視します。
冷却ファン	内部冷却ファンの回転数を監視します。
カバー開閉	本体天板が解放されていないか監視します。
電源	電源ユニットの状態を監視します。

3.2 LSA の監視項目

HDD	
RAID コントローラ	それぞれの状態に異常がないか監視します。
RAID 状態	